

●施策を構成する事務事業等の概要

①		事務事業等の名称		H29年度決算	H30年度決算	R元年度予算
シルバー人材センター事業補助金		事業費(千円)		50,569	49,846	54,204
		所要人員(人)		0.03	0.03	0.03
開始年度		昭和	54年～	総コスト(千円)	50,100	54,463
事業内容 (平成30年度の活動状況)		シルバー人材センターの円滑な運営を図ることを目的に、令和元年度公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター事業補助金交付要綱に基づき、運営及び事業に必要な経費の一部として、49,846千円を交付した。				
【今後の方向性】		⇒ 継続				
理由等		高齢者等の雇用の安定等に関する法律により、市町村はシルバー人材センターを育成し、その他その就業の機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努めることとなっており、一定規模の財政支援は必要であると考え。				
行政評価会議からの意見		引き続き安定的な運営が図られるよう、補助金や事業の委託料の適正化に向けて、シルバー人材センターと緊密に連携を図ることが適当である。		行政評価委員会からの意見		他のシルバー人材センターの人員体制や近隣市の補助額と比較、検討することにより、補助額等の妥当性・透明性の確保に努める必要がある。 また、会員の安定的な就労環境の整備、就労に対するモチベーションの維持を図るため、メンタルケアを行い、適正な人事管理に努めるとともに、自立した運営に向けて財務状況の改善についても併せて促していくべきである。
有口 無口				有口 無口		
②		事務事業等の名称		H29年度決算	H30年度決算	R元年度予算
シルバー人材センター運営資金貸付		事業費(千円)		7,000	5,000	5,000
		所要人員(人)		0.03	0.03	0.03
開始年度		平成	18年～	総コスト(千円)	5,254	5,259
事業内容 (平成30年度の活動状況)		武蔵村山市シルバー人材センター運営資金貸付に関する要綱に基づき、シルバー人材センター事業運営の円滑な推進を図るため、500万円の貸付けを行った。 なお、償還については「貸付けを受けた日の属する年度の末日まで」と規定しており、平成30年度中に全額返済を受けている。				
【今後の方向性】		⇒ 継続				
理由等		当該事業を開始した平成18年度の貸付金は2,000万円であったが、平成20年度から1,600万円、平成22年度から1,300万円、平成24年度から1,000万円、平成27年度から700万円、そして平成30年度から500万円と徐々に減額しており、シルバー人材センターの自助努力により改善がみられるが、円滑な事業運営を図るためにも継続するべきであると考え。				
行政評価会議からの意見				行政評価委員会からの意見		
有口 無口				有口 無口		
③		事務事業等の名称		H29年度決算	H30年度決算	R元年度予算
シルバー人材センター事業協会負担金		事業費(千円)		50	50	50
		所要人員(人)		0.03	0.03	0.03
開始年度		不明	年～	総コスト(千円)	304	309
事業内容 (平成30年度の活動状況)		公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会費規程に基づき、市及び特別区賛助会員の会費口数である5口(1口10,000円)、合計50,000円を納入した。				
【今後の方向性】		⇒ 継続				
理由等		公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の目的に賛同し、その事業に協力するという趣旨を踏まえ、継続すべきであると考え。				
行政評価会議からの意見				行政評価委員会からの意見		
有口 無口				有口 無口		